

The Japan Society of Educational Sociology

日本教育社会学会

第60回大会 プログラム

2008

平成20年9月

19日(金)・20日(土)・21日(日)



大会日程

第1日 (9月19日)		
14:45 ~	受付	大学会館入口
15:20 ~ 15:30	開会式	講 201
15:30 ~ 18:00	研究発表 I	
18:00 ~ 18:10	休憩・移動	
18:10 ~ 19:40	若手研究者交流会	人 113
第2日 (9月20日)		
9:00 ~	受付	大学会館入口
9:30 ~ 12:00	研究発表 II	
12:00 ~ 13:00	昼食	
13:00 ~ 13:45	総会	講 301
13:45 ~ 14:00	学会賞授与式	
14:00 ~ 14:10	休憩・移動	
14:10 ~ 16:10	研究発表 III	
16:10 ~ 16:20	休憩・移動	
16:20 ~ 18:10	研究発表 IV	
18:10 ~ 18:30	休憩・移動	
18:30 ~ 20:30	懇親会	大学会館食堂
第3日 (9月21日)		
9:00 ~	受付	大学会館入口
9:30 ~ 12:30	公開シンポジウム	講 301
	課題研究 I ~ III	講 202, 201, 302
12:30 ~ 12:40	閉会式	講 301

各種会合

第1日 (9月19日)		
13:30 ~ 15:00	編集委員会	本部・事務局大会議室
13:30 ~ 15:00	研究委員会	講 103
14:00 ~ 15:00	事務局打合せ	講 104
18:00 ~ 20:00	理事会	本部・事務局大会議室
第2日 (9月20日)		
12:10 ~ 12:50	評議員懇談会	本部・事務局大会議室
12:10 ~ 12:50	総会打合せ	講 104
12:10 ~ 12:50	課題研究 I・III打合せ	講 103
12:10 ~ 12:50	課題研究 II・シンポジウム打合せ	講 105
16:30 ~ 18:30	課題研究 II 打合せ	講 103

ご案内

- 1. 会場** 上越教育大学
〒 943-8512 上越市山屋敷町 1 番地
- 2. 受付** 19 日 午後 14:45 より 大学会館 1 F で受付を行います。
20 日・21 日 午前 9:00 より //
- 【大会参加費】**
- | | |
|------------|---------|
| 一般会員 | 4,000 円 |
| 大学院生・研究生会員 | 3,000 円 |
| 臨時会員 | 4,000 円 |
- 大学院生・研究生会員の方は大会受付で身分証をご提示ください。
身分証のご提示がない場合は一般会員の参加費となりますのでご注意ください。
- 【懇親会費】** 3,500 円（大学院生・研究生会員 2,500 円）
- 【名札】** 受付で名札をお渡しします。所属・氏名をご記入ください。
大会期間中の会場内では必ず名札をお付けください。
- 3. 発表時間** 発表時間は、一人：発表 20 分＋質疑応答 5 分＝25 分
二人：発表 40 分＋質疑応答 10 分＝50 分
三人以上：発表 60 分＋質疑応答 15 分＝75 分
発表終了 5 分前に 1 鈴、終了時刻に 2 鈴、質疑応答終了時刻に 3 鈴の合図をします。発表時間は厳守願います。
- 4. 欠席の場合** 発表者が欠席するときは、大会前日（9 月 18 日）までに必ず大会実行委員会に E-mail または FAX でお知らせください。
- 5. 発表者の方へ** カラー資料作成の手引き～色覚バリアフリーの実現にむけて～
本学会では、学会発表や学会活動のさまざまな場面において「色覚バリアフリー」の実現をめざすことになりました。色覚バリアフリーとは、色彩の識別が困難な人たちが一定の割合でいらっしゃるという科学的見地にもとづき、大会発表資料等におけるカラー色の使い方の配慮など、適切な工夫が必要であるという考え方です。誰にとってもわかりやすい資料提示をめざし、特にカラー資料の提示の際には、下記の点にご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。
- ① 赤と緑の識別が困難な場合が多いので、配慮する。
 - ② レーザーポインターは、緑のポインターが望ましい。
 - ③ 明度の差を利用し、コントラストのはっきりした色の塗り分けを工夫する。
 - ④ 輪郭線や境界線で、塗り分けの境を強調する。
 - ⑤ ひとつの図版に使う色数は、なるべく少なくする。
 - ⑥ 対象箇所を各色で示さず、場所や形でも指定する。
(例：この四角い赤のマークは…)

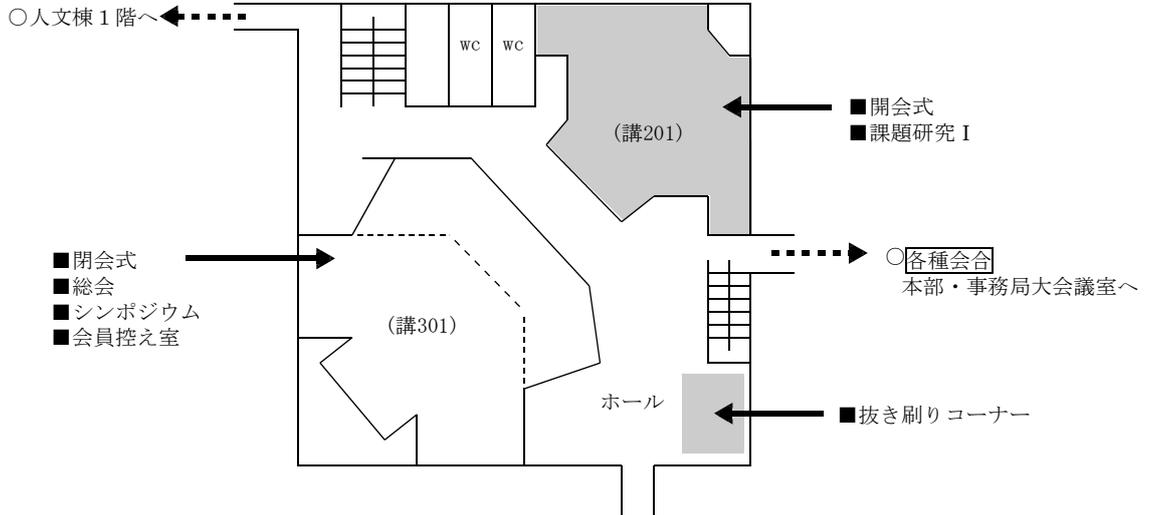
6. 資料のコピー 大会実行委員会によるコピーサービスは行いません。
研究発表用の配付資料等は各自が必要な部数をご用意ください。
7. 昼食 20日(土)は大学会館内の第一食堂、喫茶室、売店が営業しておりますので、ご利用ください。21日(日)は食堂が休みですので、おにぎり等を売店にて販売いたします。(数量限定)
8. 会員控室
(講301) 会員控室に飲み物が用意してありますのでご利用ください。
9. 抜刷コーナー
(講301前) 抜き刷りコーナーを設けますので、どうぞご利用ください。
10. クローク
(人101) 大会中はクロークでお荷物をお預かりいたします。ただし、貴重品は携帯してください。
11. 書籍販売 人文棟1F及び2Fのエレベーター前ホールで行います。
12. 懇親会 9月20日(土)18:30～20:30に大学会館の食堂で懇親会を開催いたします。皆様お誘い合わせの上ご参加ください。
13. 喫煙場所 建物内は全面禁煙となっております。喫煙は屋外の決められた場所をお願いいたします。
14. 発表資料について 発表資料は各部屋の係員にお渡しください。係員が資料を配付いたします。
15. 連絡先 日本教育社会学会 第60回大会実行委員会
〒943-8512 上越市山屋敷町1番地 上越教育大学
TEL 025-521-3366(藤田)
Fax 同上
E-mail jses2008@juen.ac.jp
URL <http://www.juen.ac.jp/gakkai/jses2008/>

構内案内図

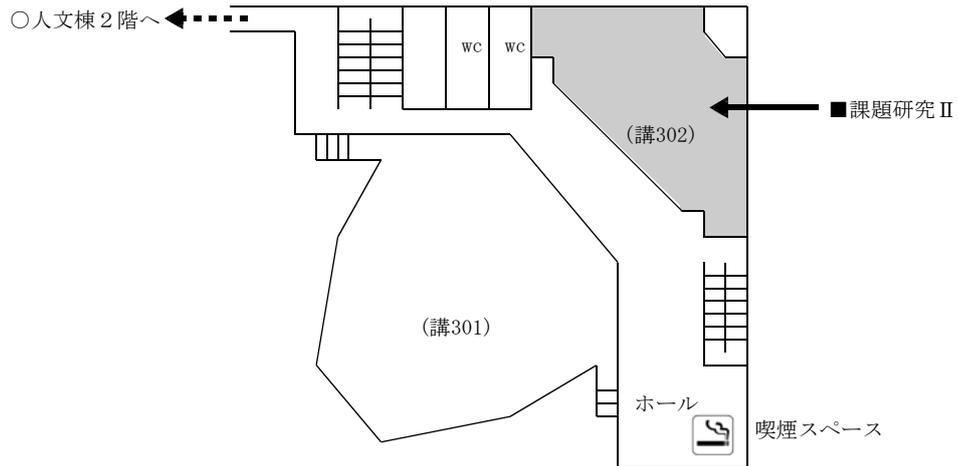
この色で塗りつぶされた教室が
研究発表の会場となっています

■ 講義棟

2階

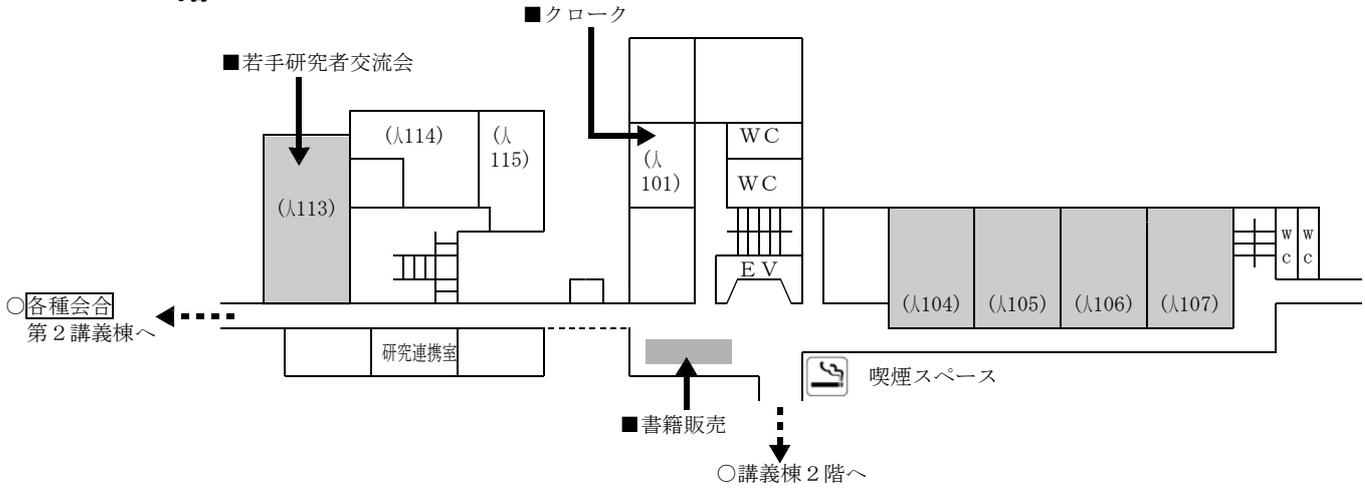


3階

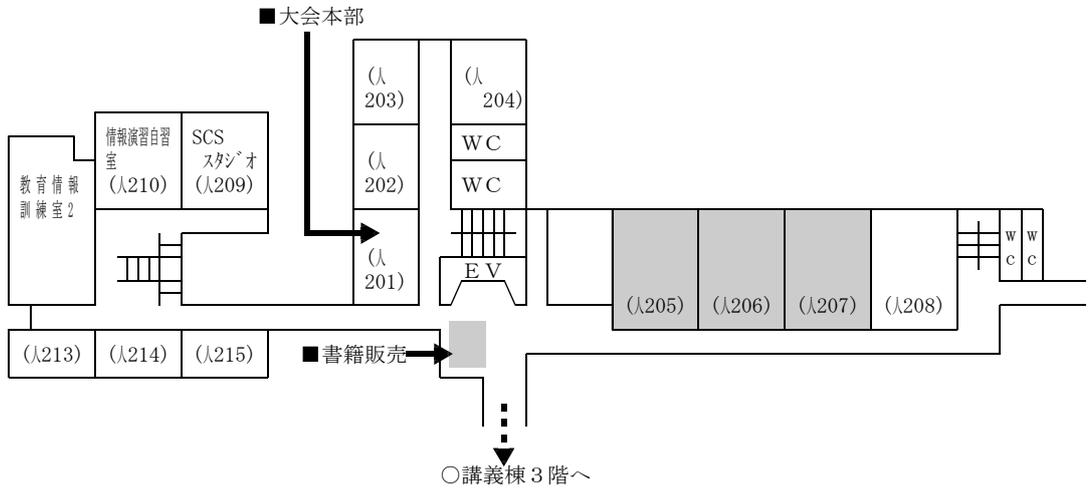


■ 人文棟

1階

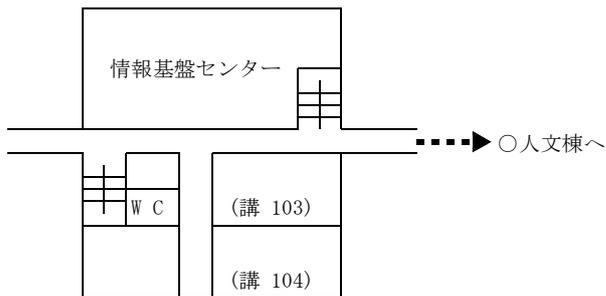


2階

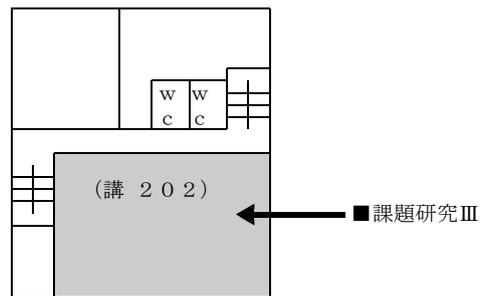


■ 第2講義棟

1階



2階



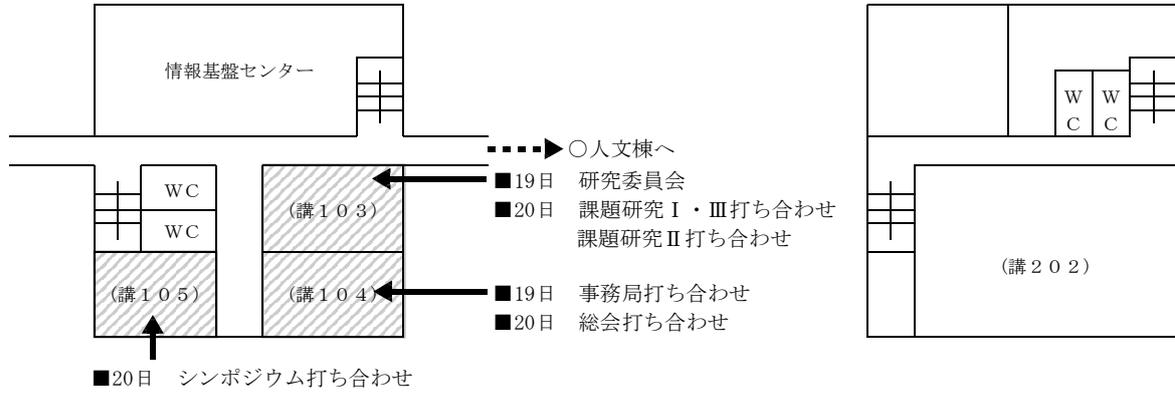
構内案内図（各種会合会場）

 この色で塗りつぶされた教室が各種会合の会場となっています

■ 第2講義棟

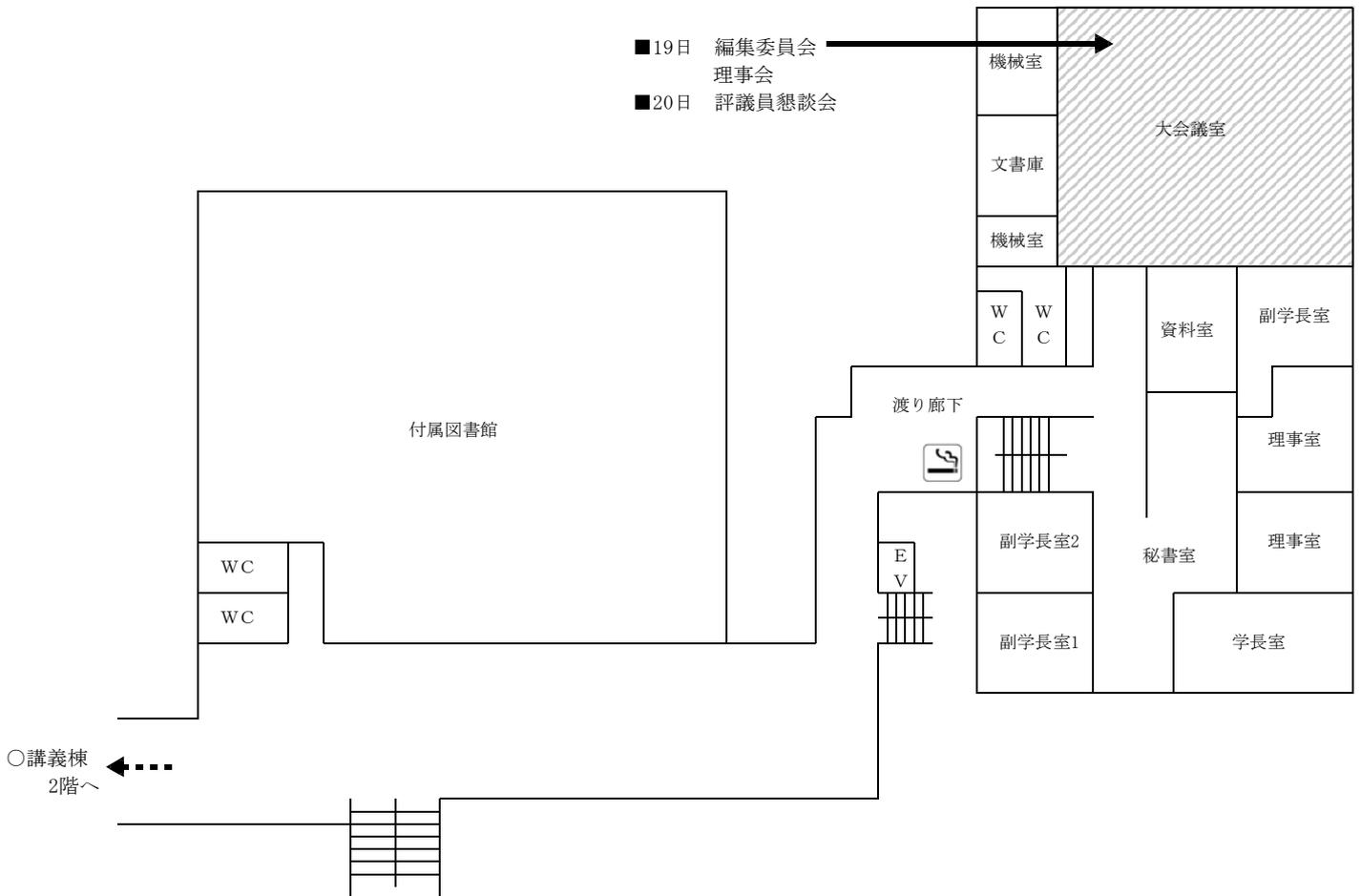
1階

2階



■ 本部・事務局

- 19日 編集委員会
理事会
- 20日 評議員懇談会



目次

◇9月19日(金)

研究発表 I (15:30 ~ 18:00)

I-1 教員評価	講 201	1
I-2 若者の意識	講 302	2
I-3 ジェンダー	講 202	3
I-4 高校教育	人 113	4
I-5 高等教育	人 104	5
I-6 教育病理	人 105	6
I-7 世界の教育改革	人 106	7
I-8 大学の教育力	人 107	8
I-9 多文化教育	人 205	9
I-10 文化と教育	人 206	10
I-11 方法論	人 207	11

若手研究者交流会 (18:10 ~ 19:40)

人 113

◇9月20日(土)

研究発表 II (9:30 ~ 12:00)

II-1 教職の専門性	講 201	12
II-2 少年非行	講 302	13
II-3 学校の効果	講 202	14
II-4 家族と子ども	人 113	15
II-5 親の教育選択	人 104	16
II-6 教育の戦後	人 105	17
II-7 高校教育改革	人 106	18
II-8 ニューカマー	人 107	19
II-9 大卒就職	人 205	20
II-10 大学教育とスキル	人 206	21
II-11 大学院教育	人 207	22

研究発表Ⅲ (14:10～16:10)

Ⅲ-1 教師の意識	講 201	23
Ⅲ-2 若者と進路	講 302	24
Ⅲ-3 若者の就業	講 202	25
Ⅲ-4 中学受験	人 113	26
Ⅲ-5 学校における社会化	人 104	27
Ⅲ-6 不登校	人 105	28
Ⅲ-7 マイノリティーの教育	人 106	29
Ⅲ-8 旧制の学校制度	人 107	30
Ⅲ-9 高大連携	人 205	31
Ⅲ-10 高等教育機会の構造	人 206	32
Ⅲ-11 生徒文化の歴史	人 207	33

研究発表Ⅳ (16:20～18:10)

Ⅳ-1 学校と地域	講 201	34
Ⅳ-2 地域と教育	講 302	35
Ⅳ-3 中高生の意識	講 202	36
Ⅳ-4 政策の効果	人 113	37
Ⅳ-5 教育政策	人 104	38
Ⅳ-6 教育と労働市場	人 105	39
Ⅳ-7 教育費	人 106	40
Ⅳ-8 子どもの社会化	人 107	41
Ⅳ-9 障害児	人 205	42
Ⅳ-10 幼児教育	人 206	43
Ⅳ-11 留学生	人 207	44

◇9月21日(日)

課題研究(9:30～12:30)

I 入学者選抜の変容と大学・高校	講 201	45
II 新保守主義下の道徳教育	講 302	46
III 教育とグローバリゼーション	講 202	47

公開シンポジウム(9:30～12:30)

「学力問題」の現在	講 301	48
-----------	-------	----

教員評価

9月19日(土) 15:30~18:00

講 201

司会 陣内 靖彦(東京学芸大学)

山崎 博敏(広島大学)

15:30~15:55 1. 東京都における人事考課制度と教員給与の現時点

○岩月 真也(同志社大学大学院)

15:55~16:20 2. 教員免許更新制の導入にみる教育行政の課題

ー政策サイドと現場のニーズをつなぐ制度をめざすためにー

○海口 浩芳(北陸学院大学)

16:20~17:35 3. 「教員評価」の制度化とその問題点

ー「教える」という仕事の評価は成功するのかー

○荻谷 剛彦(東京大学)

○河野 銀子(山形大学)

○金子 真理子(東京学芸大学)

○妹尾 渉(平成国際大学)

○川上 泰彦(佐賀大学)

○諸田 裕子(所属なし)

勝野 正章(東京大学)

伊藤 安浩(大分大学)

油布 佐和子(早稲田大学)

17:35~18:00 総括討議

若者の意識

9月19日(金) 15:30~17:35

講 302

司会 吉川 徹(大阪大学)

15:30~15:55 1. 女子大学における大学生生活満足度規定要因に関する研究

○星野 敦子(十文字学園女子大学)

牟田 博光(東京工業大学)

15:55~17:10 2. JLPS(東大社研パネル調査)に見る若年者の意識変化(1)

—変容する意識の国際比較—

○石田 浩(東京大学)

大島 真夫(東京大学)

元治 恵子(立教大学)

佐藤 香(東京大学)

○中澤 渉(東洋大学)

○深堀 聰子(国立教育政策研究所)

○三輪 哲(東京大学)

17:10~17:35 総括討議

I -3 部会

ジェンダー

9月19日(金) 15:30~18:00

講 202

司会 笹原 恵(静岡大学)

近藤 弘(立教大学)

- 15:30~15:55 1. 集団における「幼児の性自認メカニズム」と「男女間の上下関係形成過程」の関係に関する研究
○大滝 世津子(東京大学大学院)
- 15:55~16:20 2. キャリア教育の実践とその課題
—京都女子大学におけるキャリア教育を事例として—
○玉井 眞理子(京都女子大学他非常勤)
- 16:20~16:45 3. キャリア教育とジェンダーに関する一考察
○寺崎 里水(お茶の水女子大学)
- 16:45~17:35 4. 学校教育とジェンダーの今
—生徒と教師の調査から—
○眞鍋 倫子(中央大学)
○木村 育恵(東京学芸大学非常勤)
- 17:35~18:00 総括討議

高校教育

9月19日(金) 15:30~18:00

人 113

司会 大野 道夫(大正大学)

菊地 栄治(早稲田大学)

- 15:30~15:55 1. 高校生の教科学習内容への意義づけ場面への着目
ー東京都下の二校の質問紙調査からー
○山田 美都雄(東京大学大学院)
- 15:55~16:20 2. 進学アスピレーションは加熱されるか
ー高等学校における習熟度別学習の取り組みからー
○坂野 誠(奈良県立青翔高等学校)
- 16:20~17:35 3. 進路多様校からの進学
ー高校3年間の進路変容過程に関する継時的研究(3)ー
○中村 高康(大阪大学)
○西田 亜希子(大阪大学大学院)
○藤原 翔(大阪大学大学院)
岩田 考(桃山学院大学)
片山 悠樹(名古屋商科大学)
- 17:35~18:00 総括討議

高等教育

9月19日(金) 15:30~18:00

人 104

司会 塚原 修一(国立教育政策研究所)

米澤 彰純(東北大学)

15:30~15:55 1. 国立大学の機能についての実証的研究

○島 一則(広島大学)

15:55~16:20 2. 戦時期私立大学と政府

—「苦難」の時代だったのか?—

○伊藤 彰浩(名古屋大学)

16:20~17:35 3. 大学教授職の変容に関する研究(2)

—日・米・独の比較—

○有本 章(比治山大学)

○大膳 司(広島大学)

黄 福壽(広島大学)

○長谷川 祐介(比治山大学)

江原 武一(立命館大学)

17:35~18:00 総括討議

教育病理

9月19日(金) 15:30~17:35

人 105

司会 加野 芳正(香川大学)

- 15:30~15:55 1. 小中移行期における「学校不適応」に関する研究(4)
—小6から中2の3年間のパネル調査 その2—
○酒井 朗(大妻女子大学)
木村 文香(江戸川大学)
加藤 美帆(お茶の水女子大学)
- 15:55~16:20 2. 高校生の中退意識に関する一考察
—教育困難校での参与観察をとおして—
○山藤 忠生(横浜国立大学大学院)
- 16:20~16:45 3. 新聞報道にみる少年の凶悪事件に関する学校責任言説の変容
—1970年~1993年—
○高橋潤子(福岡大学大学院)
- 16:45~17:10 4. 摂食障害がキャリア選択に及ぼす影響についての一考察
○衣川 由美子(上越教育大学大学院)
- 17:10~17:35 総括討議

世界の教育改革

9月19日(金) 15:30~17:35

人 106

司会 南部 広孝 (京都大学)

- 15:30~15:55 1. 家族・福祉・治安の最後の砦として位置づく学校
ー終日制化が進むドイツにおける学校の役割変容ー
○布川 あゆみ(一橋大学大学院)
- 15:55~16:20 2. メキシコの新自由主義下の教育改革
ー初等教育完全普及の国際・国内的文脈ー
○米村 明夫(アジア経済研究所)
- 16:20~16:45 3. ラオスにおける前期中等教育拡大政策の分析
○瀧田 修一(お茶の水女子大学)
- 16:45~17:10 4. シンガポールのメリトクラシーとSchool Dropout
○岡部 悟志(東京工業大学大学院)
- 17:10~17:35 総括討議

大学の教育力

9月19日(金) 15:30~18:00

人 107

司会 岩井 八郎(京都大学)

山田 礼子(同志社大学)

- 15:30~15:55 1. 「学士力」養成のための分析とアプローチ
○豊島 雅和(埼玉学園大学)
- 15:55~16:20 2. 大学生の条件的教育効果に関する研究
—JCSS2007データからジェンダーを中心に—
○相原 総一郎(大阪薫英女子短期大学)
- 16:20~17:35 3. キャンパスライフの教育力
○武内清(上智大学)
○浜島幸司(新潟大学)
○谷田川ルミ(上智大学大学院)
○山口晶子(上智大学大学院)
- 17:35~18:00 総括討議

多文化教育

9月19日(金) 15:30~18:00

人 205

司会 馬居 政幸(静岡大学)

結城 恵(群馬大学)

- 15:30~15:55 1. 多文化教育空間における外国につながる子どもの文化背景の表明
—多文化教育の再構築に向けて—
○三浦 綾希子(一橋大学大学院社会学研究科博士課程)
- 15:55~16:20 2. 多文化教育における教育実践者の言説に関する一考察
—「いる・いない論」がもたらしたもの—
○榎井 縁(財団法人とよなか国際交流協会)
- 16:20~17:35 3. ニューカマー生徒の就学を支える諸要因
—国際教室をめぐる資源の編み直しに注目して—
○家上 幸子(非営利教育支援団体 Ed. ベンチャー)
○角替 弘規(桐蔭横浜大学)
○児島 明(和光大学)
清水 睦美(東京理科大学)
- 17:35~18:00 総括討議

文化と教育

9月19日(金) 15:30~18:00

人 206

司会 岩見 和彦(関西大学)

片岡 栄美(駒澤大学)

- 15:30~15:55 1. 戦間期日本の大衆婦人雑誌にみる「職業婦人」イメージの変容
○山崎 貴子(京都大学大学院)
- 15:55~16:20 2. 戦後日本の少女雑誌文化における「少女」
ー少女雑誌『ひまわり』『ジュニアそれいゆ』分析を中心にー
○今田 絵里香(立命館大学非常勤)
- 16:20~16:45 3. ビジネス誌における自己啓発の今日的様態
ービジネス能力特集の分析からー
○牧野 智和(早稲田大学)
- 16:45~17:10 4. 特待生制度問題に関する言説分析
○栗山 靖弘(横浜国立大学大学院)
- 17:10~17:35 5. 阪神間女子中高生のファッション行動にみる差異化戦略
ーファミリアのバッグを例にー
○佐藤 八寿子(神戸ファッション造形大学)
- 17:35~18:00 総括討議

方法論

9月19日(金) 15:30~17:35

人 207

司会 越智 康詞(信州大学)

筒井 美紀(京都女子大学)

- 15:30~15:55 1. 教育調査におけるデータの信頼性と課題
ー子ども・保護者一致調査の問題ー
○篠原 清夫(茨城大学大学院非常勤)
- 15:55~16:20 2. 社会調査におけるホンネとタテマエ
ー学力(歴)忌避感情に注目してー
○渡辺 稔(わたなべ総合教育研究所)
- 16:20~16:45 3. 対人コミュニケーションにおける<解釈>の地位変更について
○山本 雄二(関西大学)
- 16:45~17:10 4. ミャンマーの社会科が求める「資質価値」
ーカリキュラム分析の理論的可能性をめぐってー
○小島 文英(国際基督教大学大学院)
- 17:10~17:35 総括討議

Ⅱ-1 部会

教職の専門性

9月20日(土) 9:30~12:00

講 201

司会 久富 善之(一橋大学)

紅林 伸幸(滋賀大学)

- 9:30~ 9:55 1. 教員政策に関する教師の意識
—新自由主義的な改革への共鳴—
○油布 佐和子(早稲田大学)
- 9:55~10:20 2. 「指導が不適切な教員」の教師教育政策
○今津 孝次郎(名古屋大学)
- 10:20~11:35 3. 義務教育改革と教職の専門性Ⅱ
—5県2市の教員キャリア調査から—
荻谷 剛彦(東京大学)
○清水 睦美(東京理科大学)
○長谷川 哲也(名古屋大学大学院)
○堀 健志(青山学院大学非常勤講師)
○松田 洋介(滋賀県立大学)
○山田 哲也(大阪大学)
- 11:35~12:00 総括討議

少年非行

9月20日(土) 9:30~12:00

講 302

司会 林 芳樹(静岡県立大学)

渡部 真(横浜国立大学)

9:30~10:20 1. 非行少年の「変容」とは何か

変化 / 変容 / 更生のプロセス

木村 祐子(お茶の水女子大学大学院)

仲野 由佳理(東京学芸大学連合大学院)

伊藤 茂樹(駒澤大学)

高井良 健一(東京経済大学)

越川 葉子(立教大学大学院)

鈴木 舞(東京大学大学院)

金子真理子(東京学芸大学)

10:20~11:35 2. 男子少年院における教育の実態と機能に関する実証的研究

古賀 正義(中央大学)

広田 照幸(日本大学)

南 保輔(成城大学)

岩田 一正(成城大学)

山口 毅(帝京大学)

齋藤 智哉(法政大学非常勤)

平井 秀幸(日本学術振興会特別研究員)

村山 拓(東京大学大学院)

稲葉 浩一(立教大学大学院)

11:35~12:00 総括討議

学校の効果

9月20日(土) 9:30~12:00

講 202

司会 西島 央(首都大学東京)

田中 節雄(椋山女学院大学)

- 9:30~ 9:55 1. 「効果的な学校」に社会的不平等の救済はできるのか？
—マルチレベルモデルをもちいた「学校の効果」の分析—
○川口 俊明(大阪大学大学院)
- 9:55~10:20 2. 国際学力調査で見る中学生の学力
—TIMSSおよびPISAが示す学力とその階層差の経年変化—
○須藤 康介(東京大学大学院)
- 10:20~11:35 3. 「効果のある学校」から「力のある学校」へ
—階層間格差を超える学校改善モデルの構築—
○志水 宏吉(大阪大学)
○芝山 明義(鳴門教育大学)
高田 一宏(兵庫県立大学)
葛上 秀文(鳴門教育大学)
棚田 洋平(大阪大学大学院)
○伊佐 夏実(大阪大学大学院)
○盛満 弥生(大阪大学大学院)
前馬 優策(大阪大学大学院)

11:35~12:00 総括討議

家族と子ども

9月20日(土) 9:30~12:00

人 113

司会 天童 睦子(名城大学)

渡辺 秀樹(慶應義塾大学)

9:30~ 9:55 1. 就学前の子どもをもつ母親の育児に関する調査

—育児不安の規定要因の多角的分析—

○池田 隆英(精華女子短期大学)

9:55~10:20 2. 子育て世帯はどのような消費支出節約行動を行っているか

○都村 聞人(東京福祉大学)

10:20~11:35 3. 生活史に見る男性のワーク・ライフ・バランス

—新自由主義下の労働管理・家庭教育・アイデンティティ—

○多賀 太(関西大学)

○東野 充成(九州工業大学)

○佐々木 正徳(九州大学)

11:35~12:00 総括討議

親の教育選択

9月20日(土) 9:30~12:00

人 104

司会 本田 由紀(東京大学)

藤田 英典(国際基督教大学)

- 9:30~ 9:55 1. チャータースクールにおける学校選択
ーカリフォルニア州を事例としてー
○宝来 敬章(名古屋大学大学院)
- 9:55~10:20 2. 在外日本人の学校選択傾向の変動に関する研究
ーシンガポール日本人駐在員家族の事例分析を通してー
○岩崎 未来(お茶の水女子大学大学院)
- 10:20~11:35 3. グローバリズムのなかの親の教育選択と意識
ー教育における公共性の揺らぎと階層性ー
○片岡 栄美(駒澤大学)
○小玉 亮子(お茶の水女子大学)
○石黒 万里子(中村学園大学)
- 11:35~12:00 総括討議

教育の戦後

9月20日(土) 9:30~12:00

人 105

司会 石戸 教嗣(埼玉大学)

阿形 健司(同志社大学)

- 9:30~ 9:55 1. 戦後復興期から高度経済成長期における定時制高校生の実態
—地方都市型定時制高校の事例—
○前田 崇(早稲田大学)
- 9:55~10:20 2. 定時制高校の史的展開と分化に関する研究
高口 明久(鳥取大学)
柿内 真紀(鳥取大学)
○大谷 直史(鳥取大学)
太田 美幸(鳥取大学)
- 10:20~10:45 3. エリクソンにおけるアイデンティティ概念関連の検討
—1960年代以降の日本社会における青年文化論・若者文化論を背景として—
○河井 亨(京都大学大学院)
- 10:45~11:10 4. 「能力主義的—差別教育観」の再検討
—戦前との連続性・非連続性を中心に—
○澤田 誠二(東京大学大学院)
- 11:10~11:35 5. オールド・リベラリスト世代の戦後教育構想
—田中耕太郎の教育理論を中心に—
○山村 和世(東京大学大学院)
- 11:35~12:00 総括討議

高校教育改革

9月20日(土) 9:30~12:00

人 106

司会 中村 高康(大阪大学)

樋田 大二郎(青山学院大学)

9:30~ 9:55 1. 総合選抜制の解体と高校の特色づくり

○小川 洋(聖学院大学)

9:55~10:20 2. 高校教育改革と専門学科

○南本 長穂(関西学院大学)

尾場 友和(大阪市立高等学校)

10:20~10:45 3. エンパワメントの教育改革

—<しんどい高校>の試みに学ぶ—

○菊地 栄治(早稲田大学)

10:45~11:35 4. 株式会社立学校の存立基盤

—広域通信制高校に着目して—

○田部井 潤(東京国際大学)

栗栖 淳(国士舘大学)

○渡部 晃正(信州大学)

11:35~12:00 総括討議

ニューカマー

9月20日(土) 9:30~12:00

人 107

司会 佐久間 孝正(立教大学)

小澤 浩明(中京大学)

9:30~10:20 1. 公立小中学校におけるブラジル人と日本人の関係

ー集住地間の比較分析を通してー

○新藤 慶(新見公立短期大学)

○菅原 健太(北海道大学大学院)

10:20~11:35 2. ニューカマーをめぐる教育研究の分析視点を問い直す

ー移動の教育社会学に向けてー

児島 明(和光大学)

○松山 有美(愛知教育大学非常勤)

○賽漢卓娜(名古屋大学大学院)

○岩村ウィリアン雅浩(名古屋大学大学院)

○山崎 香織(名古屋大学大学院)

○中島 葉子(名古屋大学大学院)

白山 真澄(名古屋大学大学院)

今津 孝次郎(名古屋大学)

11:35~12:00 総括討議

大卒就職

9月20日(土) 9:30~12:00

人 205

司会 米川 英樹(大阪教育大学)

近藤 博之(大阪大学)

9:30~ 9:55 1. 高等教育から女性事務職への移行の構造変容に関する研究

吉本 圭一(九州大学)

○江藤 智佐子(久留米大学)

9:55~10:20 2. 大学教育の受容メカニズムをめぐる日欧比較

—11ヶ国のOECD加盟国を中心として—

○村山 詩帆(佐賀大学)

10:20~10:45 3. 「失われた10年」とライフコース

—2005年SSM調査の分析から—

○岩井 八郎(京都大学)

10:45~11:35 4. 「失われた世代」の大卒就職

○平沢 和司(北海道大学)

○濱中 義隆(大学評価・学位授与機構)

11:35~12:00 総括討議

大学教育とスキル

9月20日(土) 9:30~12:00

人 206

司会 岩永 雅也(放送大学)

岩木 秀夫(日本女子大学)

- 9:30~ 9:55 1. 個人のキャリア戦略と MBA
—あるビジネススクール卒業生のその後—
○平尾 智隆(愛媛大学)
梅崎 修(法政大学)
松繁 寿和(大阪大学)
- 9:55~10:20 2. 大学事務職員の能力開発に関する研究
—教員との協働を可能とするために—
○山本 眞一(広島大学)
- 10:20~10:45 3. 「注力エピソード」に基づく能力評価のあり方
—大卒事務系総合職採用を中心にして—
○小山 治(東京大学)
- 10:45~11:35 4. アウトカム評価におけるジェネリックスキルの位置づけ
○吉原 恵子(兵庫大学)
○杉本 和弘(大学評価・学位授与機構)
末富 芳(福岡教育大学)
- 11:35~12:00 総括討議

大学院教育

9月20日(土) 9:30~12:00

人 207

司会 山内 乾史(神戸大学)

島 一則(広島大学)

- 9:30~ 9:55 1. 大学院入試形態の変化と受験生の意識に関する社会学的研究
—面接だけで受験できる東大京大早慶などの有名校の事例を中心に—
○赤田 達也(早稲田大学大学院)
- 9:55~10:20 2. 通信制大学院における学習状況について
—2007年度学生実態調査から—
○石原朗子(総合研究大学院大学)
鈴木克夫(桜美林大学)
- 10:20~10:45 3. 大学院の学歴価値と雇用の流動性
—可視性・流動性連関仮説—
○大森 不二雄(熊本大学)
- 10:45~11:35 4. 専門職大学院の教育とその効果
○吉田 文(早稲田大学)
○濱中 淳子(大学入試センター)
- 11:35~12:00 総括討議

Ⅲ-1 部会

教師の意識

9月20日(土) 14:10~15:45

講 201

司会 油布 佐和子(早稲田大学)

- 14:10~14:35 1. 困難校における教師の自律的な生徒指導の組織化
—「学年指導実践」の参与観察から考える—
○青木 美幸(中央大学大学院)
- 14:35~15:25 2. 組織編制から見た中学校運動部活動の実態と課題
—東京都・静岡県・新潟県の顧問教師への質問紙調査をもとに—
○西島 央(首都大学東京)
藤田 武志(上越教育大学)
○矢野 博之(大妻女子大学)
○中澤 篤史(東京大学大学院)
○熊谷 信司(東京大学大学院)
- 15:25~15:45 総括討議

若者と進路

9月20日(土) 14:10~16:10

講 302

司会 武内 清(上智大学)

14:10~14:35 1. 高等教育におけるパスウェイ分析の有効性

—理論と実証から—

○松塚 ゆかり(一橋大学)

14:35~15:50 2. JLPS(東大社研パネル調査)に見る若年者の意識変化(2)

—<働くこと>をめぐる意識に着目して—

石田 浩(東京大学)

○大島 真夫(東京大学)

○元治 恵子(立教大学)

○佐藤 香(東京大学)

中澤 渉(東洋大学)

深堀 聰子(国立教育政策研究所)

三輪 哲(東京大学)

15:50~16:10 総括討議

Ⅲ-3 部会

若者の就業

9月20日(土) 14:10~16:10

講 202

司会 西田 芳正(大阪府立大学)

14:10~15:00 1. 「使い捨てられる若者たち」に関する比較社会学(その3)

○原 清治(佛教大学)

○山崎 瞳(佛教大学非常勤)

○山内 乾史(神戸大学)

小川 啓一(神戸大学)

深堀 聡子(国立教育政策研究所)

植田 みどり(国立教育政策研究所)

15:00~15:50 2. 地域労働市場と高卒就職・初期キャリア

○小杉 礼子(労働政策研究・研修機構)

○堀 有喜衣(労働政策研究・研修機構)

筒井 美紀(京都女子大学)

長須 正明(東京聖栄大学)

15:50~16:10 総括討議

中学受験

9月20日(土) 14:10~16:10

人 113

司会 小針 誠(同志社女子大学)

14:10~14:35 1. 私立小学校の多様化

ー卒業後の進路選択に着目してー

○望月 由起(横浜国立大学)

14:35~15:50 2. 中学校選択の構造に関する考察

ー88年・07年の子ども・保護者調査の結果からー

○樋田 大二郎(青山学院大学)

子安 潤(愛知教育大学)

土橋 稔(世田谷区立給田小学校)

荒川 英央(日本橋学館大学)

○木村 治生(ベネッセ教育研究開発センター)

邵 勤風(ベネッセ教育研究開発センター)

宮本 幸子(ベネッセ教育研究開発センター)

○橋本 尚美(ベネッセ教育研究開発センター)

15:50~16:10 総括討議

学校における社会化

9月20日(土) 14:10~16:10

人 104

司会 柳 治男(中村学園大学)

- 14:10~14:35 1. 子どもを「生徒化」する学校メディアとしての机
— constructionism と constructivism の差異を手掛かりに—
○早坂 淳(筑波大学)
- 14:35~15:50 2. 学校的社会化の諸相(1)
— 教室における知識とふるまいの習得—
○北澤 毅(立教大学)
有本 真紀(立教大学)
間山 広朗(神奈川大学)
小野 奈生子(立教大学)
稲葉 浩一(立教大学大学院)
鶴田 真紀(立教大学大学院)
○高橋 靖幸(立教大学大学院)
○越川 葉子(立教大学大学院)
- 15:50~16:10 総括討議

Ⅲ-6 部会

不登校

9月20日(土) 14:10~16:10

人 105

司会 山田 哲也(大阪大学)

- 14:10~14:35 1. <登校/不登校>と学校の意義
○山本 宏樹(一橋大学大学院)
- 14:35~15:00 2. 教育行政にみる不登校対応の変容
○富岡 理恵(上智大学大学院)
- 15:00~15:25 3. 不登校現象をめぐる社会運動における社会運動参加者の意味構築
—不登校言説へ供給される言語的資源の背景—
○森 啓之(慶應義塾大学大学院)
- 15:25~15:50 4. 義務教育後の学校における不登校経験者への登校支援
○伊藤 秀樹(東京大学大学院)
- 15:50~16:10 総括討議

マイノリティーの教育

9月20日(土) 14:10~16:10

人 106

司会 小内 透(北海道大学)

- 14:10~14:35 1. マイノリティ生徒の「語り」にみる日本の学校文化
○棚田 洋平(大阪大学大学院)
- 14:35~15:00 2. 同和問題における差別学習と人権学習
○神原 文子(神戸学院大学)
- 15:00~15:25 3. 中国「華僑大学」が有するアイデンティティ形成の学校文化
ー広州・暨南大学でのフィールド調査からー
○石川 朝子(大阪大学大学院)
- 15:25~15:50 4. 中国内モンゴル自治区の民族言語教育が抱える課題
ー英語教育必修化に伴う言語教育の変容に着目してー
○高友^{ゴイハン} 哈(お茶の水女子大学大学院)
- 15:50~16:10 総括討議

旧制の学校制度

9月20日(土) 14:10~16:10

人 107

司会 山田 浩之(広島大学)

14:10~14:35 1. 戦前期の私学における中等教員養成システム

ー高等師範部のカリキュラムを中心にー

○太田 拓紀(日本学術振興会特別研究員)

14:35~15:50 2. 学籍データベース作成の方法と課題

ー旧制神戸一中を事例としてー

○橋 佳江(神戸女子大学大学院)

○加藤 善子(立命館大学)

○保田 その(龍谷大学非常勤)

井上 好人(金沢星稜大学)

15:50~16:10 総括討議

高大連携

9月20日(土) 14:10~16:10

人 205

司会 木村 邦博(東北大学)

14:10~14:35 1. 高大連携と社会

ー 日米比較視点からの再考 ー

○ 神原 信幸(新潟大学)

14:35~15:50 2. 大学進学と意識変容

ー 都市／地方進学校の卒業後パネル調査から ー

○ 安藤 理(東京大学大学院)

○ 井上 公人(立教大学大学院)

○ 中西 啓喜(お茶の水女子大学大学院)

○ 有海 拓巳(浜銀総合研究所)

荻谷 剛彦(東京大学)

15:50~16:10 総括討議

高等教育機会の構造

9月20日(土) 14:10~16:10

人 206

司会 吉田 文(早稲田大学)

- 14:10~14:35 1. フランスにおけるグランド・ゼコール進学者
○白鳥 義彦(神戸大学)
- 14:35~15:00 2. 1990年代中期以後の中国高等教育機会
－事例研究を中心に－
○沈 甸(名古屋大学大学院)
- 15:00~15:25 3. 中国の地方政府における高等教育財政の構造
○沈 晶晶(名古屋大学大学院)
- 15:25~15:50 4. 高等教育機会の長期趨勢
－1995～2005年SSM調査データからの把握－
○近藤 博之(大阪大学)
- 15:50~16:10 総括討議

生徒文化の歴史

9月20日(土) 14:10~15:45

人 207

司会 広田 照幸(日本大学)

- 14:10~14:35 1. 昭和戦前期の中等教育機関における模範生徒像
○土田 陽子(京都大学大学院)
- 14:35~15:00 2. 第五高等学校『生徒賞罰』にみる<学生>規範の形成に関する研究
○加藤 亜希子(熊本大学大学院)
- 15:00~15:25 3. 旧制高校における校風改革運動の勝者と敗者
— 四高の「超然主義」の神話と「寒潮」事件から —
○井上 好人(金沢星稜大学)
- 15:25~15:45 総括討議

学校と地域

9月20日(土) 16:20~18:10

講 201

司会 住田 正樹(放送大学)

- 16:20~16:45 1. 防災教育の現状と課題
—学校とNPOの事例から—
○鈴木 勇(大阪大学)
- 16:45~17:10 2. ライフコースとしての「市民活動」
—子育て支援に関わる女性に対するインタビュー調査から—
○上田 智子(聖徳大学)
小玉 亮子(お茶の水女子大学)
- 17:10~17:35 3. 「スクールサポーター事業」における地域と学校のつながり形成
—つながり形成における「情報」の特質に着目して—
○上間 春江(東京大学大学院)
- 17:35~18:10 総括討議

地域と教育

9月20日(土) 16:20~18:10

講 302

司会 高田 一宏(兵庫県立大学)

16:20~17:10 1. 親の教育参加とPTAの原理の歴史的研究

—戦前・戦後のPTA前史の研究—

○杉村 房彦(日本大学非常勤)

17:10~17:35 2. 「自然体験」と教育

—表象としての「自然」の批判的再検討—

○牧野 修也(神奈川大学非常勤)

○春日 清孝(明治学院大学非常勤)

17:35~18:10 総括討議

中高生の意識

9月20日(土) 16:20~18:10

講 202

司会 酒井 朗(大妻女子大学)

- 16:20~16:45 1. 高校生の複数集団への参加
ー居場所とアイデンティティに注目してー
○御旅屋 達(東京大学大学院)
- 16:45~17:10 2. 韓国中高生の規範意識の特徴と日韓相互理解教育の課題(その3)
○馬居 政幸(静岡大学)
李 明熙(韓国国立公州大学校)
夫 伯(韓国慶熙大学校)
宋 在鴻(韓国大田市立トゥリ中学校)
阿部 耕也(静岡大学)
山田 知佳(静岡大学大学院修了)
- 17:10~17:35 3. 青少年の友人関係と生活観
ー中学・高校生に対する意識調査の日韓比較ー
○小澤 昌之(慶應義塾大学大学院)
- 17:35~18:10 総括討議

政策の効果

9月20日(土) 16:20~18:10

人 113

司会 古賀 正義(中央大学)

- 16:20~16:45 1. 指導方法が学級風土に与える影響に関する研究
○水野 考(広島大学大学院教育学研究科研究員)
- 16:45~17:10 2. 学級規模の教育効果に関する諸理論
○山崎 博敏(広島大学)
- 17:10~17:35 3. 少子高齢化社会における小中学校配置政策の動向と課題
ー全国調査報告を中心にー
○葉養 正明(国立教育政策研究所)
- 17:35~18:10 総括討議

教育政策

9月20日(土) 16:20~18:10

人 104

司会 今津 孝次郎(名古屋大学)

16:20~16:45 1. 学校経営改革のシステム論的検討

○井本 佳宏(北海道文教大学)

16:45~17:10 2. 全国学力調査と学校改善

ー全国学力調査の結果をどう活かすかー

○三田 耕一郎(神戸市教育委員会指導課)

17:10~17:35 3. 世界のリテラシー

○島村 直己(国立国語研究所)

17:35~18:10 総括討議

教育と労働市場

9月20日(土) 16:20~18:10

人 105

司会 菅山 真次(東北学院大学)

- 16:20~16:45 1. ペット関連業界の労働市場
—若者の人気職業の実態と第3次新興産業の労働世界—
○荒川 葉(お茶の水女子大学大学院人間文化創世科学研究科研究員)
- 16:45~17:10 2. ビジネス系検定における学生受験者増加の背景
—販売士を事例として—
○河野 志穂(早稲田大学大学院)
- 17:10~17:35 3. 栄養専門職養成に関する歴史的経過
—管理栄養士制度導入前後を中心に—
○鈴木 道子(尚絅学院大学)
- 17:35~18:10 総括討議

教育費

9月20日(土) 16:20~18:10

人 106

司会 倉石 一郎 (東京外国語大学)

- 16:20~16:45 1. 大学生親子と教育費負担ルール
—近畿・九州所在大学調査を中心に—
○末富 芳(福岡教育大学)
都村 聞人(東京福祉大学)
- 16:45~17:10 2. 地方自治体による就学援助と奨学金事業の現状と課題
○白川 優治(千葉大学)
- 17:10~17:35 3. 「子どもの貧困」にみる育ちとライフチャンス
—子どもの経験に注目して—
○大澤 真平(北海道大学大学院)
- 17:35~18:10 総括討議

子どもの社会化

9月20日(土) 16:20~18:10

人 107

司会 山本 雄二(関西大学)

- 16:20~16:45 1. コールバーグ=ギリガン論争の遺産
—道徳的問題の位相転換—
○高橋 征仁(山口大学)
- 16:45~17:10 2. 装置としてのカリキュラム
—私立在外校における異文化体験学習の構築—
○白石 義郎(久留米大学)
- 17:10~17:35 3. 居住空間の<教育>化に関する一考察
○高橋 均(跡見学園女子大学非常勤)
- 17:35~18:10 総括討議

障害児

9月20日(土) 16:20~17:45

人 205

司会 堀家 由妃代(佛教大学)

- 16:20~16:45 1. ソーシャル・インクルージョンの教育社会学
ー発達障害(障害と才能 2E問題)を通じてー
○入江 良英(埼玉純真短期大学)
- 16:45~17:10 2. 統合教育現場における教育支援員の存在に対する認識の変容
ー教員と教育支援員に対するインタビュー調査をもとにー
○羽田野 真帆(筑波大学大学院)
- 17:10~17:45 総括討議

幼児教育

9月20日(土) 16:20~18:10

人 206

司会 田中 亨胤(姫路獨協大学)

- 16:20~16:45 1. 「幼稚園の保育所化」の進行とその論理
○丹治 恭子(浜松大学)
- 16:45~17:10 2. 幼稚園教室における「公／私」区別の産出と社会化過程
○森 一平(東京大学大学院)
- 17:10~17:35 3. 子どもの言語運用における階層間格差
—小学1年生の「物語作り」調査より—
○前馬 優策(大阪大学大学院)
- 17:35~18:10 総括討議

留学生

9月20日(土) 16:20~17:45

人 207

司会 小島 勝(龍谷大学)

- 16:20~16:45 1. 戦間期における日本人留学生の諸相
—フランス政府招聘留学生を中心に—
○石井 素子(京都大学大学院)
- 16:45~17:10 2. 四年制大学における留学生受入れと短期外国人受入れ状況に関する
考察
○坪井 健(駒澤大学)
- 17:10~17:45 総括討議

課題研究1

入学者選抜の変容と大学・高校

9月21日(日) 9:30～12:30

講義棟 202 教室

ここ 10 年余の大学進学率の上昇が大学や高校にもたらす影響は、どちらの教育機関にとっても教育の質の維持管理が困難になった問題として論じられてきた。こうした現象の背後にある主要な要因は、大学入学者選抜の変容である。これまで、日本の教育システムにおいては、入学試験による学力選抜が、大学の質の維持のゲートキーパーとして機能し、高校教育においてアカデミックな学力の重視の姿勢を浸透させていた。しかし、大学志願者数と大学入学者数の差が縮小することによって、数字の上で入学競争が緩和したとともに、高等教育政策として多様な選抜方法が進められた結果、入学試験以外に推薦や AO などが大幅に導入された。

こうした入学者選抜の変容が、高校や大学の教育の質の維持を困難にさせたというわけである。しかし、一般的にいわれる質の維持の困難とは、具体的にはどのような状況을指しているのだろうか。一般的には、学力低下と喧伝されるが、それは、学習する姿勢の変化なのか、学習量の変化なのか、学習内容の変化なのか。

入学者選抜の変容の実態とそれが高校・大学にもたらしているものを実証的に検討し、こうした状況が日本の教育システム全体をどのような方向に向けているのかを議論し考察することが、本課題研究の目的である。また、これまで、高校研究は高校のみを、高等教育研究は大学のみを、両者の接続面は入試のみをと、それぞれの研究は別個に行われてきた傾向があるが、入学者選抜をキーワードとして、高校と大学とを接合する分析方法を模索し、研究の新たな領域を拡大することを、もう1つのねらいとする。

報告：

1. 大学入学者選抜の変容 ―入試多様化現象を捉える視点―

中村 高康 (大阪大学)

2. 大学全入時代の高校教育 ―教育課程の特徴と高校生の受験行動・特性―

山村 滋 (大学入試センター)

3. 「大学教育への影響」を測定するということ

―高大接続情報と大学生調査データを「接合」する試み―

木村 拓也 (長崎大学)

コメンテーター：荒井 克弘 (東北大学)

司会：吉田 文 (早稲田大学, 研究委員会)

課題研究2

新保守主義下の道徳教育 —安倍政権・教育再生会議後の状況下で—

9月21日(日) 9:30～12:30

講義棟 201 教室

2002年からの「心のノート」の全小中学生への配布、2006年の教育基本法改正における「国を愛する態度」の明記など、21世紀に入り、国民的アイデンティティを醸成すべく新保守主義的な教育改革が加速的に進められてきた。一方で、安倍首相の辞任を機に、それまで教育再生会議が主張してきた「徳育」の教科化が見送られるなど、一時的ではあるかもしれないがその流れは止まったようにも思える。しかし、他方で教育基本法改正の影響は関係法規や学習指導要領に及び、規範意識を醸成させるための「道徳教育推進教師」や、「毅然とした指導」の必要性が政策的に唱えられてもいる。現在は、今後の道徳教育がどのように推移するかの岐路に立っているとも言えよう。

このように道徳教育は、教育改革の焦点の一つであり続けているにもかかわらず、実証研究の対象とすることが困難であるためか、教育社会学研究においては十分な検討がなされてこなかった。確かに、道徳教育に関する主張はイデオロギーの差異による対立の様相を呈しやすい面がある。しかし、その差異を前提としつつも、実際にどのような帰結が生じうるかという機能のレベル、および、それぞれの立場に立つ教育政策・実践が人々にいかに支持されるかという正当化のレベルにおける多様な解釈可能性を検討することによって、イデオロギーの枠を越えた議論も可能になるであろう。現在進められている道徳教育は、子どもたちや社会にどのような影響をもたらすのだろうか、理論的にどのように正当化され、人々にいかに支持（容認）され続けるのであろうか。本課題研究では、国の政策を含めたいくつかの思想的立場から、それらが理想とする社会像およびそのために必要な道徳教育の構想を提示してもらい、それらを機能と正当化可能性の観点から検討する。その上で、今後の道徳教育の趨勢を占い、実証研究も含めた教育社会学研究の課題を模索・共有する契機としたい。

報告：

1. 政治経済パラダイムと道徳教育パラダイムの不幸なシンクロ？
—新保守主義とホリズム—
岩木 秀夫（日本女子大学）
2. 教育政策における道徳教育の理念と方法に関する考察
—戦後の道徳教育政策の変遷を踏まえて—
押谷 由夫（昭和女子大学）
3. 目指すべき規範意識と醸成の方法
喜入 克（都立高校教師，非学会員）

コメンテーター：玉井 康之（北海道教育大学）

司会：新谷 周平（千葉大学，研究委員会）

課題研究3

教育とグローバリゼーション:その分析枠組みを問う

9月21日(日) 9:30～12:30

講義棟 302 教室

グローバリゼーションという概念は、1990年代以降社会科学で何かを論じようとするとき、欠かせないキーワードになっている。「国内」的な問題として扱われることが多かった教育を論じる際にも、もはやグローバリゼーションを無視することはできないだろう。しかし、人びとがグローバリゼーションという語であらわそうとしていることは多様かつ曖昧であることもまた確かである。ヒト・モノ・財・情報などの国境を越えた大量の移動を指すこともあれば、新自由主義的な世界経済秩序の再編を指すこともあれば、近代的な国民国家の枠組みのゆらぎを指すこともある。にもかかわらず、その多様性や曖昧さを不問にしたまま、グローバリゼーションの重要性が語られることはあまりにも多い。

教育社会学は、グローバリゼーションをどのように把握すべきなのか。そしてグローバリゼーションをめぐる論点はいかに設定され、その分析はいかなる枠組みでなされるべきなのか。本課題研究では、経済的側面、政治的側面、文化的側面など、複数の視角から光を当て、グローバリゼーションの多義性を確認し、その教育へのインパクトを検討する。同時に、教育がグローバリゼーションの進行に果たす役割に注目し、教育とグローバリゼーションの関係を分析するための枠組みをさぐっていききたい。

3人の報告者には、グローバリゼーションの定義と、その定義をふまえた上での問題設定を提示していただく。報告に対するコメントを柱とした議論を通じて、これから教育社会学が扱うべき研究課題を浮き彫りにすることをめざす。また、これまでの「国際(化)」をキーワードとした教育研究との差異を意識しつつ、グローバリゼーションに注目することで教育社会学研究におけるナショナルな思考様式を超えることは可能なのか、検討していききたい。

報告：

1. グローバル化と教育経済学

橘木 俊詔 (同志社大学, 非学会員)

2. グローバリゼーションと教育 —教育の新しい条件と生政治を巡る攻防—

越智 康詞 (信州大学)

3. グローバリゼーションと教育 —教育政策と政治のあいだ—

広田 照幸 (日本大学)

コメンテーター：潮木 守一 (桜美林大学)

司会：木村 涼子 (大阪大学, 研究委員会)

公開シンポジウム

「学力問題」の現在

9月21日（日） 9:30～12:30

講義棟 301 教室

近年、教育社会学の領域から、「学力」をめぐる問題に関する分析や提言が積極的に発信されています。では、全国学力テストも継続的に実施され、学力の向上を旗印に授業時数と指導内容が増加された新学習指導要領の実施を控えている現在、教育社会学による学力問題の考察は、政策や教育実践に対してどのように貢献しうるのでしょうか。その一方で、教育社会学において学力をめぐる問題を考察することは、現代の教育社会の解明という学問的課題に対し、どのようなアクチュアルな示唆を与えうるのでしょうか。本シンポジウムでは、「学力」をキーにして、教育社会学の理論的到達点とその実践的な示唆を探っていきます。

報告者：

1. 学力論争の整理とその新たな展開をめぐって
原 清治（佛教大学）
2. 社会問題としての“学力”と教育政策
耳塚寛明（お茶の水女子大学）
3. 教育実践のなかの「学力」 — 「効果のある学校」論の日本への適用—
志水宏吉（大阪大学）

指定討論者：

山内乾史（神戸大学）：社会学の立場から
岩川直樹（埼玉大学）：教育学の立場から

司会：新井郁男（上越教育大学名誉教授）